

第1回ふじみ野市立東台小学校の今後を考える地域懇談会 概要

令和4年8月31日（金）18：00～19：30

於：ふじみ野市立東台小学校

（参加者）

ふじみ野市教育委員会

教育長、教育部長、学校教育課長、指導主事、学務係長

東台小学校

校長、教頭、PTA会長、学校運営協議会会長・委員、自治組織代表、地域コーディネーター

1 教育長挨拶

東台小学校の未来を考えていくにあたり、皆さまからご意見をいただくため、地域協働学校としての理念に基づき、地域懇談会を開かせていただくこととなりました。東台小の児童数は、令和7年度に100人を切ることが見込まれます。子どもの社会性を育むための適正規模としては、一定程度の人数が必要です。地域の開発が見込まれない状況の中で、複式学級となる可能性もないとは言えません。子ども達の数が減るといふことのメリット・デメリットや、市全体として東台小学校の教育資源としての観点から、他の学区の学校との格差も考えなければなりません。この地域懇談会では、皆さまから様々なご意見をいただき、教育委員会の責任において、東台小学校の将来に向けた方針案を定めていきたいと思っております。

2 説明・懇談

（1）学校の少人数化に伴う諸課題について〈学校教育課長〉

- ・学区審議会の流れ
- ・地域懇談会の目的
- ・東台小児童数の推移
- ・小規模校のメリット・デメリット
- ・今後の日程

〈参加者〉東台小の建設当時の児童数のシミュレーションはどうだったのでしょうか。

〈教育長〉児童数減少は、当時のシミュレーションから想定されていましたが、東原小の児童数増加に対応するため東台小が建設されました。当時の計画では

当該地域の再開発も想定されたものでした。

<参加者>今後、東台地区の開発の可能性はありますか。

<教育部長>当該地域は市街化調整区域であることから、開発の可能性は小さいです。万一あった場合でも長い年月を要するものと思われます。

<参加者>教育委員会として、東台小をどうするつもりですか。

<教育長>どのように適正規模を確保できるのかという点から特認校制度や学区再編などの方策が想定されますが、皆さまから様々なご意見をいただきたいと思えます。

<参加者>検討材料として、市内各学校の児童数、通学区域図や隣接する三芳町の状況等の資料が欲しいです。

<教育長>次回会議で説明させていただきます。

<参加者>我々は学区の再編など難しい話はできません。何を検討すれば良いのでしょうか。

<教育長>保護者や地域の皆さまや子供たちの声を聴かせていただき、東台小の今後を我がことと考えていただきながら、教育改善や児童の人間関係が豊かになる方策を検討していきたいと考えております。

<参加者>児童を持つ親は不安感を持っています。

<教育長>東台小の今後のために、何らかのアクションを起こさなければなりません。どのようにしたら適正規模で維持できるのかの取組みを皆さまと共に考えていきたいと思えます。

<参加者>学区再編は単純ですが、恵まれた施設を生かすような取組みを行うてはどうでしょうか。また、他自治体では英語教育を強化し、児童を呼び込むような事例もあると聞きます。

<教育長>他自治体の特認校の事例や本市の児童数や学区の状況、三芳町の状況をお示しするとともに、東台小の特色をどのように出すのかについて、この会で引き続き検討していきたいと思えます。

第2回ふじみ野市立東台小学校の今後を考える地域懇談会 概要

令和4年9月30日（金）18：30～19：30

於：ふじみ野市立東台小学校

（参加者）

ふじみ野市教育委員会

教育長、教育部長、学校教育課長、指導主事、学務係長

東台小学校

校長、教頭、PTA会長、学校運営協議会会長・委員、自治組織代表、地域コーディネーター、近隣校関係者

1 教育長挨拶

第1回目の会議ではこれからの東台小の在り方について、具体的な例を示しながら皆さまと考えていくことになりました。前回、三芳町の藤久保小は児童数が増えているため、東台小に通学できないかとの話がありましたが、藤久保小は今後建て替えをするため、それはできないと分かりました。本日は特認校制度と今後の東台小の特色づくりについて説明をしたいと思います。

2 説明・懇談

（1）特認校制度について＜学校教育課長＞

- ・小規模特認校制度を採用している学校紹介及び視察
- ・東台小、東原小児童数の推移
- ・学校区の説明
- ・三芳町複合施設の紹介

＜教育長＞小中一貫校となると、9年間同じ児童・生徒で過ごすこととなります。1つの選択肢ではありますが、多様な人間関係をつくる機会が少なくなります。

＜参加者＞児童を増やすとなると、学区を広げないと難しいのではないのでしょうか。市内どこからでも通学可能とするのはどうでしょうか。

＜教育長＞特認校制度とって、例えば他学区の児童が学校の特色に魅力を感じ、通いたいという場合に希望を募り、通学出来るようにする制度があります。

＜学校教育課長＞他の自治体で同様の制度がありますが、通学にあたり学校の方針に賛同することや6年間通学することなどを条件として定めているようです。

＜参加者＞老人ホームと学校の共存はできますか。

<教育部長>そのような自治体もありますが、学校を違う用途に使用する為、調整が必要となります。

<参加者>教育委員会としては、特認校としたいのでしょうか。

<教育長>以前お話したように、現在3つの案があるかと思います。1つ目は特認校、2つ目は学区変更、3つ目は小中一貫校です。

<参加者>保護者の中では東原小に戻りたいという人もいれば、東台小を大切にしたいという人もいます。特認校にして、課題を解決できるのでしょうか。

<教育長>今後も様々な意見をいただき、検討していきたいと思います。

<参加者>特認校に行きたくない児童はどうなるのでしょうか。

<教育長>特段の理由がない限りはそのまま指定された学校に通うことになります。通常、特段の理由というのは、いじめ、人間関係の問題、病気、家庭の事情などが該当します。

<参加者>特認校となった場合、教員や予算が増える特典などがありますか。

<教育部長>そのような制度はありません。

<参加者>特認校制度を採用しても結果はすぐには表れないと思います。少人数の良さは1人1人に先生方が目を向けられることです。特色が発揮されるまで長い目で見る必要があると思います。

(2) 東台小の特色づくりについて<校長>

<教育長>特認校で進めていく際、特色を活かした教育活動を進めることとなります。この施設でしかできない教育について、他校の子どもへ情報発信する必要があります。また、大切なのは東台小学校に現在通う子ども達です。これからどう話を進めていくのか、考えていきたいと思います。また、今後は学区再編についても皆さまのご意見をお伺いさせていただきます。

<参加者>保護者を集めて話を聞きたいと思います。

<参加者>このような会合があるということを保護者に周知したいです。

<教育長>学校だよりで今までの話し合いの内容や経過を伝えていきます。

<参加者>地域コーディネーターや設立時から本校に関わっている方をメンバーに追加してもよいですか。

<教育長>できるだけオープンな会になるように是非参加をお願いします。

<参加者>想像していなかった案が出て驚いています。ここで決めずに保護者アンケートで意見を聞いてから決めてほしいです。また、学区を変えることはなぜ難しいのでしょうか。東原小の子でも東台小に行きたいと思っている子どももいるのではないのでしょうか。

<教育長>結論はここで決めるのではなく、最終的に皆さまのご意見を踏まえ

ながら決めていきます。学区変更でも特認校でも、どれも課題は多いと思います。
＜参加者＞今通っている児童は変えず、次に入学してくる児童から変えるのはいかがでしょうか。

＜教育長＞どのように進めるかは地域の皆さまにご理解をいただけるかどうか大切です。令和7年に100人を切る状況を何とかしなくてはなりません。子どもたちが多様な関わりができるように人数を増やしていきたいと考えていますが、異なるご意見も当然あります。十分に意見をお伺いしながら考えていきたいです。

＜参加者＞東原小学区の子で、東台小に通いたいという方もいます。施設がとても綺麗なことが魅力です。東原小、東台小、大井小で同じくらいの人数が大井中に行けるように学区の調整はできないのでしょうか。今後マンションなどが建つ予定がないのであれば、学区を変えてほしいです。

＜教育長＞クラス替えができるくらいの人数の学校にしていきたいという考えがあります。非常に難しい問題なので、保護者も交えた説明会を開きたいと思います。

第3回ふじみ野市立東台小学校の今後を考える地域懇談会 概要

令和4年10月21日(金) 18:00～19:30

於：ふじみ野市立東台小学校

(参加者)

ふじみ野市教育委員会

教育長、学校教育課長、指導主事、学務係長

東台小学校

P T A会長、学校運営協議会会長・委員、自治組織代表、地域コーディネーター、
近隣校関係者

1 教育長挨拶

東台小は今後どうあるべきかについて、地域の皆さまと一緒に考える場としてこの懇談会を開催させていただいております。皆さまの様々な思いや意見をもとに進めていきたいです。各学年で複数学級の編成ができる規模の人数を目指すため、学区再編、小中一貫校、特認校制度などをこれまでの懇談会で取り上げました。この懇談会は方針等を決定する場ではなく、様々な意見を聞かせていただく場であり、今年度は、丁寧に時間をかけてご意見を聞かせていただく年と考えています。

2 説明・懇談

これまでの懇談会の内容等について<学校教育課長>

- ・地域懇談会の目的
- ・小規模校のメリット・デメリット
- ・小規模特認校制度の内容
- ・保護者説明会の日程(案)

<参加者>グループで話し合うのではなく、全体で話し合うべきです。保護者だけを対象にせず、地域の意見も必要です。偏ってアンケートを取れば、異なる意見も出てきてしまいます。

<教育長>これまでの説明は一つのプロセスであり、これからも様々な方にご意見を伺います。保護者や地域だけの問題ではなく市の施設として考えていくにあたり、まずは東台小に近い方々のご意見を聞くことを第一歩としています。

<参加者>同じ集合住宅の保護者に集まってもらい話を聞きました。その際の意見としては、学区変更の希望が一番多かったです。東原小は市街化区域、東台

小は市街化調整区域の為、人口は先細りです。学校存続には他の学区からの編入を促すしかないのではないのでしょうか。

<参加者>話し合いの場で保護者の半分は東原小でも良いとのことでした。大井中が遠いので、東台小を中学校にする、小学校を選択できるようにするなどの意見がありました。

<教育長>様々な意見を聞き、保護者説明会で紹介したいと思います。

<参加者>学区変更について、東台小学区の保護者とそれ以外の学区の保護者の認識に相違があります。説明会でどう説明するのでしょうか。

<教育長>東台小以外の学区のこととなるため、市全体としても考える必要があります。

<参加者>これまでもメリット・デメリットを話し合ってきましたが、やはりクラス替えが行えるような人数が良いという意見になりました。

<参加者>アンケートは、保護者だけではなく入学を控える方に対しても行い、どこの学校に行きたいかを聞いてはどうでしょうか。

<参加者>在籍児童の保護者やこれから通う予定の児童の保護者、地域の方が参加する説明会を開催してはどうでしょうか。

<教育長>保護者説明会は在籍児童の保護者のほか、入学を控える方も対象にしたいと思います。東台小の現状を伝えた後に、アンケートを実施します。コミュニティスクールの考えのもと、皆さまのご意見を十分にお伺いしたうえで、進めてまいります。

<参加者>前回の会議で話した小規模特認校を視察する件はどうなりましたか。

<学務係長>小規模特認校制度を実施している八條北小学校のある八潮市教育委員会と調整しております。今後、視察の参加者を募らせていただければと思います。

<参加者>教育長から様々な意見を出して良いと話がありましたが、廃校という意見も出して良いのでしょうか。

<教育長>どうしたらこの学校を維持できるかと考えていますが、子ども達が多様な人間性に関われるような、大きな学校に通わせたいという意見もあるかと思っています。

<参加者>事前アンケートがあっても良いのではないのでしょうか。

<参加者>アンケートは最後にした方がよいのではないのでしょうか

<学校教育課長>今後、アンケート案を作成のうえ、皆さまにお示しさせていただきます。

第4回ふじみ野市立東台小学校の今後を考える地域懇談会 概要

令和4年11月30日（水）18：00～19：30

於：ふじみ野市立東台小学校

（参加者）

ふじみ野市教育委員会

教育長、教育部長、学校教育課長、指導主事、学務係長

東台小学校

校長、教頭、PTA元会長・役員、学校運営協議会会長・委員、自治組織代表、
地域コーディネーター、近隣校関係者

1 教育長挨拶

これまで3回に渡り、少人数の課題をどう解決していくか、議論を進めてまいりました。1月22日に在籍児童や今後入学予定児童の保護者、地域の皆さまにお集まりいただき、説明をさせていただきます。今後は皆さまのご意見を伺うためのアンケートの実施も予定しております。本日はいくつかの方策について皆さまに提示させていただき、スケジュールについてもお話させていただきます。

2 説明・懇談

（1）東台小4年生児童が話し合った内容について

＜参加者＞資料には児童の前向きな意見が多いですが、東原小に行きたいという意見はありませんでしたか。

＜校長＞子供たちは学校を残したいという気持ちが強かったです。また、大きい学校になるのが心配で怖い、と書いている児童がいました。

（2）説明会開催通知文書（案）について

＜参加者＞現在の東台小の状況や開催の経緯の説明がなければ、保護者に分かりにくいのではないのでしょうか。

＜教育長＞令和7年度に100人を切る状況が見込まれ、今後を考えなければならぬ時期になったということを説明したいと思います。

＜参加者＞大井本町町会は区域が広いので、東台小の認識について温度差が激しいです。

＜指導係長＞通知文書は頂いたご意見を織り込んだものを作成させていただきます。

＜参加者＞アンケートは何の議論しているのか分かりやすくして、配付や通知

方法は丁寧に行ってください。

＜学校教育課長＞来年度入学予定児童の保護者は郵送で、それ以降の入学予定や地域の方には、ホームページや回覧での周知を考えております。

＜参加者＞事前アンケートを取る目的は何ですか。

＜学校教育課長＞説明会開催の前に、皆さまの現在のお考えを把握させていただくためのものです。

＜参加者＞学校の事情が分からない保護者が大半ですので、回答は難しいのではないのでしょうか。

＜教育部長＞前提として東台小の課題については、学校だよりやPTAからの連絡により保護者の方にある程度伝わっているという認識を持っております。また、これまでの地域懇談会での話し合いで事前アンケートをした方が良いとの結論が出たことから、アンケートを作成したものです。ご指摘のとおり保護者の方の理解が十分ではないとのことであれば、補足する文書を添付させていただく必要もあると考えております。

＜参加者＞アンケートに関して、統廃合と存続のどちらがいいかといった分かりやすいものであれば意味があるかと思いますが、この質問内容では分からないのではないのでしょうか。小規模校の課題解決に向けて時間がないのに、漠然とした事を聞くと保護者に負担をかけてしまいます。

＜参加者＞選択がどのような方策に結びつくのか、なぜこの項目を設定したのか分かるアンケートにした方が良くと思います。

＜学校教育課長＞以前、アンケートを取らない方が良くとのことのご意見も頂きましたが、たたき台として今回ご提示させて頂きました。アンケート実施の要否や、質問項目についても皆さまからご意見をいただき、調整したいと思っております。

＜教育部長＞説明会で課題や方策を十分周知させていただいたうえで、事後アンケートに盛り込ませていただくことも可能であると考えています。

＜参加者＞保護者の東台小への思いは、記述欄を設ければ意見として上がってくるのではないのでしょうか。地域への案内は、児童数の減少という表現で十分理解してもらえるとと思います。児童アンケートについても、実施した方が良いです。そしてアンケート結果を説明会で説明してほしいです。

＜参加者＞アンケートについては、まず保護者に東台小の現状と課題を認識してもらおうという点で意味があると思います。保護者が危機感を共有し、周知するという点において良くできていると思います。

＜参加者＞4年生の学級会や児童アンケートなど、児童を巻き込むのは心配もあります。統廃合となった場合の児童のケアも考えてほしいです。

＜参加者＞アンケートを取る重みを考えた方が良くと思います。

＜教育長＞事前アンケートの実施は、地域懇談会でのご意見を反映させて頂き、

児童数の減少や児童同士の交流が少ないことに関する保護者のお考えをお伺いすることを目的としたものです。1月22日の説明会でご紹介させていただくため、自由記述欄に書いてもらうのが良いのではと思います。

<参加者>児童用アンケートは学年によって設問を変えてはどうでしょうか。

<教育部長>皆さまは児童にアンケートを取ることにいかがでしょうか。

<参加者>児童は、聞いてほしいと思っているのではないのでしょうか。

<参加者>学校に通うのは児童なのでアンケートを取った方が良いでしょう。

<参加者>すでに児童は考えているので、再度アンケートを行う必要があるのでしょうか。

<学校長>取組みを行ったのは4年生のみです。子供たちに聞いていただくのはありがたいです。設問は工夫次第で、十分回答できると思います。

<教育長>子供たちに解決策を考えてもらうのは難しいと思いますが、児童数の減少について感じることや困りごとについて聞きたいと思います。

<参加者>子供たちも地域の住民なので、地域の一員として回答してもらうことは意義深いと考えます。

<教育部長>子供たちに自由意見を募り、アンケート結果として公開したいと思います。

(3) 説明会資料(案)のについて説明

<参加者>解決策のメリット・デメリットを提示し、判断できるようにしてはいかがでしょうか。

<参加者>そもそも何が問題なのか、課題を明記したほうが良いでしょう。

<教育部長>ご理解いただけるよう説明したいと思います。また、それぞれの方策の制度説明に加え、メリットが分かるようなものといたします。

<参加者>東台小の前に空き地がありますが、マンションは建たないのですか。

<教育部長>市街化調整区域であるため、開発は見込まれません。

<参加者>アンケート結果に拘束されるものなのでしょうか。

<教育長>意見はしっかりと受け止め、皆さまからの意見を踏まえるというプロセスを経たうえで、方針を決定していくということになります。

<参加者>人数が少ないことから修学旅行のバス代など一人当たりの負担が大きいことについて、どのように考えていますか。

<教育部長>教育費の負担の配分に関する話とも関連するものと捉えております。

<参加者>統廃合となった場合、跡地利用の考えはありますか。

<教育部長>現在のところ全くの白紙です。

<教育長>様々なご意見を伺いながらどう改善していくのか、1月22日の説

明会でも深めていきたいと思ひます。特認校や学区の再編など様々な選択肢が
ありますが、課題解決のために保護者の皆さまや地域の皆さまと今後も検討し
ていきたいです。また、アンケートについてご意見がありましたら寄せていただ
ければと思ひます。

第5回ふじみ野市立東台小学校の今後を考える地域懇談会 概要

令和5年1月30日(水) 18:30～19:30

於：ふじみ野市立東台小学校

(参加者)

ふじみ野市教育委員会

教育長、教育部長、学校教育課長、学務係長

東台小学校

校長、教頭、学校運営協議会会長・委員、自治組織代表、地域コーディネーター、
近隣校関係者

1 教育長挨拶

本日は1月22日に開催した地域・保護者説明会の後にいただいたアンケート結果についてご報告させていただく予定でした。しかし、アンケート結果の再分析や東台小を卒業した児童の大井中での実態について知りたいといったご意見があり、回答期限を延長することとなりました。そのためアンケート結果については、改めてご報告させていただければと思っております。

2 説明・懇談

(1) 地域・保護者説明会について

事務局より再分析の方法について、事前アンケートの保護者の意向を学年や地区毎に集計し、傾向が確認できるか分析を行うこと、また、市内小・中学校の今後の推計について、市ホームページに掲載することを説明する。

<参加者> 1月22日の説明会で東台小の課題が保護者に十分に伝わっておらず、ドリーム会議についてもよく理解されていないと感じました。多くの保護者がドリーム会議へ参加しやすい状況になれば、理解も深まると思います。また、小規模校を希望する保護者もいましたが、課題を率直に伝えても良いのではないかと思います。保護者全員の理解を得るのは難しいとは思いますが、時間をかけてデータ等を示し理解が深まれば進めていけるのではないのでしょうか。

<教育長> 私も丁寧に進めなければならないと感じております。地域懇談会は方針を決定する場ではなく、課題について事前に把握させていただく場であり、最終的には保護者や地域の皆さま全員から声を聞きながら進めていくということを改めてお伝えしなければならないと思いました。

<参加者> 東台小の児童が大井中に進学してどのような状況か実態を知りたいです。

＜教育部長＞実態把握のため、大井中でのアンケート調査等を実施したいと思います。

＜参加者＞東台小PTAからの意見はないのでしょうか。様々なご意見を汲み取りながら進めてほしいです。小規模校は教員の負担も大きいと聞くので、先生のご意見も聞いてほしいです。

＜参加者＞大井小では、教科によって少人数の習熟度別授業を行っています。標準規模でも習熟度別の少人数教育があることを東台小学校の保護者の方にも知ってもらえれば、理解も進むのではないかと思います。また、地域の関係者の中には、東台小学校はいずれ高齢者施設になるという話をされる方もいらっしゃいますが、実情はどうなのでしょう。

＜教育長＞東台小は少人数であることで習熟度に分けた授業を実施することはできません。こうした課題や実態等については、今後、時間をかけて保護者の方へお伝えしていきたいと考えております。また、校舎の設計・建設当時から東台小学校を高齢者施設にするという計画はありません。廊下が広く、開放的といった特徴ある構造は、新しい教育を展開するための空間づくりに基づいたものとなっております。

＜教育部長＞高齢者施設とするのであれば、大規模な改修が必要になると思います。

＜参加者＞スケジュールとして、いつ頃までに決める予定ですか。

＜教育部長＞令和7年度の100名を下回る時期が大きな目標となりますが、説明会において丁寧に時間をかけるべきであるというご意見をいただいておりますので、今後慎重に検討していく必要があるかと思います。

＜参加者＞早く決めてもらいたいという意見もありますがいかがですか。

＜教育長＞現段階では十分に情報を提供できていないと考えております。地域や保護者の皆さまを取り残さないように、小規模化の喫緊の課題、危機的な状況を十分に共有させて頂いた後に、スピードアップを図ってまいりたいと思います。

（２）小規模特認校の視察について

＜教育長＞地域懇談会からもご参加いただき、八潮市立八條北小学校の小規模特認校制度の取組み内容を視察させていただきました。東台小についても児童への影響がないよう何らかの手立てを講じたいと考えております。

3 教育長挨拶

今後、アンケート調査の結果や分析等を市ホームページに掲載させていただき、情報提供を図ってまいりますので、よろしく願いいたします。